

多摩支部会報

平成30年迎春号

平成30年 1月 吉日

明治大学校友会
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏

謹
賀
新
年

大学日本一ならず



新年を迎えて

多摩支部長 西山 強
(36年工 国分寺)

新年を迎え平素のご厚情に感謝し皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は北朝鮮の多くの不穏な行動等で清水寺の管主による一筆書きは「北」と表記されました。

地球の温暖化等により多くの自然災害や外国でのテロ多発等多事多難な出来事が溢れた平成29年度も、平成天皇の退位、次期天皇の即位などの日程発表で幕を閉じました。

今年はこれらが少しでも改善され平和な世界へ向うことを願っています。

明治大学では入試志願者数は11年連続10万人を超え、昨年は11万人に達し、おかげで人気を博してしています。しかし、今年は法科大学院改革や箱根駅伝の立て直し等の課題を抱えてのスタートとなっています。

東京都多摩支部の昨年度は①各地域支部の質の向上を目指す。②女性を含めて若者の地域支部会員拡大。③情報のスピードアップをはかる課題の解決に努めてきました。その結果各地域支部の質

の向上は他支部との共同事業等で自支部の欠点等を見出し、改善を進められており相当向上してきました。③情報のスピードアップをはかるはWeb管理委員会の管理のもと「明治大学校友会東京都多摩支部」ホームページが適宜適切に更新され、情報の共有化と迅速化が図られておりますし、会議等の資料もインターネットを使用して適切に配付されて、コスト削減にも寄与しており過大な成果を上げています。

今年は校友数(23,659、内女子5,774)の増加、特に女子が多くなってきており、①各地域支部の質の向上は勿論②女性を含めて若者の地域支部会員拡大に力を入れて行きたいと思っています。それには女性にも活躍の場を出来るだけ提供し、校友会の卵でもある父母会・学生等にも支部情報を提供し、明治は「一つ」の精神で業務運営を進めて行こうではありませんか。

今年こそ校友会をリードする多摩支部にして行きましょう。それには多摩支部皆様の絶大なご協力とお力添えをお願いし、楽しい、活発な支部活動にして行きましょう！今年もよろしくお願い致します。

年末に大変悲しく残念なことがありました。長年にわたり総務委員長として活躍されておりました守重芳樹さんが急逝されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。



明大・丹羽監督の話

「選手は良くやってくれた。勝ちきってきたチームと19大会ぶりに決勝にきたチームの少しの差。1点差は悔しいが、次こそは帝京大の10連覇を阻止するチームになりたい」



サンスポ電子版

1点以上の差

ただの1点の差というわけではなかった。「数字的には1点しか変わらない試合でしたが、その1点の遠さを23人全員が感じたと思います」（久原）。20-21。この数字を見て、勝てた試合と言う人もいるだろう。だが王者との差は数字以上のものがあった。「前半後半通して相手サイドにスペースはあったのでそこに攻めていこうとは思っていましたが、アタックする時間はあまりもらえなくてディフェンス時間を長くさせられたのは帝京大の強さかなと」（左センター梶村祐介・政経4＝報徳学園）。相手の一瞬のスキを突き、常にアタックを仕掛けてくる帝京大に対し、食い込まれてしまうところもあった。また今試合で顕著になって表れたのは、Aゾーンに入ってから展開だ。明治はゴール前でペナルティーを犯すなどしてチャンスをものにできなかった。だがその一方で帝京大はゴール前での攻防を制し必ずトライを取り切る。そのような決定力がこの1点の差に表れたのであろう。

『NEW “MEIJI”』を完遂することはできなかった。だが大学選手権準優勝という新しい歴史は確かに刻まれ、またそれ以上に得たものも大きい。同大会3回戦敗退という早すぎる閉幕に終わった昨年から、『NEW “MEIJI”』を掲げ決勝に行くまでに成長した。この事実こそが大きな変化だ。今季の成長までの過程を良い文化として残し、これを生かしてまた来年の決勝まで備えたい。

「来年の選手権で明治と帝京がまた戦って今度は勝つというのが本当に楽しみです、そこに期待したいと思う」（古川主将）。優勝まであと一歩だった悔しさを次につなげ「来年はこの借りを返せるようにここから新しいスタートを切ります」（右ウイング高橋汰地・政経3＝常翔学園）。今回果たせなかったその悔しさ、4年生たちの思いは、後輩たちにしっかりと引き継がれた。

引用：明大スポーツ電子版 [石塚真維]



訃報

守重芳樹氏のご逝去を悼み慎んでお知らせ申し上げます。
故守重芳樹氏は、昭和40年工学部卒業後、大手建設会社に勤務されました。定年退職後は地域への貢献という信念のもと、各種団体・町内会等々で活躍され、多摩支部内におきましては総務委員長として、各委員会をとりまとめ、多摩支部躍進の要として活躍されておりました。誠に残念です。
12月31日も町内会の防犯パトロールを終えて帰宅された直後、急逝されました。享年75。 守重芳樹さん、ありがとう。 合掌

編集後書

平成30年が素晴らしい青空のもと始まりました。ラグビー大学選手権では一歩及ばず届きませんでしたでしたが楽しませていただきました。選手諸君ありがとう。守重芳樹氏の訃報には驚きと深い悲しみを隠せません。ご冥福を祈るばかりです。 多摩支部広報委員会